

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和元年5月20日

計画の名称	役場周辺地区都市再生整備計画						重点配分対象の該当	○									
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)		交付対象	広島県、北広島町													
計画の目標	既存ストックの立地環境再編による中心市街地の魅力の向上と活性化 小目標1：多彩な学習機会の提供と学びを活用した人材育成によるひとづくり・協働のまちづくりを推進する拠点づくり 小目標2：回遊性の高い道路・歩道空間と憩いの場となる交流空間の創出による魅力ある中心市街地環境づくり 小目標3：インターチェンジバス停を中心とした交通利便性の強化																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化拠点の利用者数を26,000人/年 (H27) から28,000人/年 (R4) に増加 交流拠点の利用者数を2,500人 (H27) から6,100人 (R4) に増加 地域福祉講座の参加者数を58人 (H27) から160人 (R4) に増加 高速バス利用者数を19,527人 (H28) から23,400人 (R4) に増加 																
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考							
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)	中間目標値 (R2末) 時は整備中							
北広島町まちづくりセンターの利用者数を測定する。							26,000人/年	— 人/年	28,000人/年								
ポケットパークの利用者数を測定する。							2,500人/年	— 人/年	6,100人/年								
地域福祉講座の参加者数を測定する。							58人/年	— 人/年	160人/年								
高速バスの利用者を測定する。							19,527人/年	— 人/年	23,400人/年								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,402.5	A	1,402.5	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H30	R1	R2	R3	R4				
A-1	都市再生	一般	北広島町	直接	北広島町	役場周辺地区都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設等 3.5ha	北広島町						1,402.5			
									合計					1,402.5			
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H30	R1	R2	R3	R4				
									合計					0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
								港湾・地区名	H30	R1	R2	R3	R4				
C-1																	
C-2																	
C-3																	
C-4																	
C-5																	
									合計					0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C-1																	
C-2																	
C-3																	
C-4																	
C-5																	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H30	R1	R2	R3	R4			
D-1																
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
I-D1																

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4
配分額 (a)	26.8				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	26.8				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	26.8				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

都市再生整備計画(第2回変更)

やくば しゅうへん ちく
役場周辺地区

ひろしま きた ひろしま
広島県北広島町

令和元年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	キタヒロシマチホウ 北広島町	地区名	キタヒロシマチホウ 役場周辺地区	面積	3.5 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度				

目標
 既存ストックの立地環境再編による中心市街地の魅力の向上と活性化
 小目標1: 多彩な学習機会の提供と学びを活用した人材育成によるひとづくり・協働のまちづくりを推進する拠点づくり
 小目標2: 回遊性の高い道路・歩道空間と憩いの場となる交流空間の創出による魅力ある中心市街地環境づくり
 小目標3: インターチェンジバス停を中心とした交通利便性の強化

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現状
 ・平成17年2月に旧芸北町、旧大朝町、旧千代田町及び旧豊平町の4町が合併し、北広島町が誕生した。広島県の北西部である芸北地域のほぼ中央部に位置し、中国地方の中で見ても中央部に位置する町である。また、中国山地の稜線が連なり、それを境に島根県と接し、南は広島市と接している。
 ・町域面積646km²のうち約8割が山林で占め、中央に広がる平坦地が山間盆地を形成し、豊かな自然・田園空間を有している。一方で、中国縦貫自動車道と中国横断自動車道広島浜田線の2本の高速道路、千代田ICと大朝ICの2か所設置されるなど、山陰山陽における交通の要衝地となっており、4つの産業団地には企業立地も進み、都市機能も兼ね備えている。
 ・人口は18,918人(平成27年国勢調査)で、人口減少、少子高齢化といった過疎化の波に押されているが、大都市にはない価値と魅力、快適性を備えており、誇りある伝統文化や気候を活かした観光レクリエーションエリアとして多様な交流が生まれ、また、空き家情報バンクなど定住促進施策に力を入れており、県内の過疎地域と比較して人口減少率は緩やかである。
 ・本地区には役場本庁、千代田中央公民館、千代田開発センター(文化ホール)、芸北民俗芸能保存伝承館(博物館)、千代田産業振興センター(北広島町商工会事務所)及び千代田グラウンド(多目的広場)等の公共施設や商業施設が立地している。また、周辺には、中国縦貫自動車道や国道261号線、主要地方道浜田八重可部線が通り、千代田IC、道の駅舞ロードIC千代田、社会福祉協議会、農業協同組合、金融機関、商業施設が立地するなど、町の中心市街地を形成している。
 ・こうした公共施設の集積や都市機能の集積、優れた立地条件、町内一人口密度など、高いポテンシャルを有する本地区は、北広島町において活力を生み出す重要な地区である。

課題
 ・千代田中央公民館(昭和46年整備)は、社会教育施設として様々な学習機会の提供や図書館(北広島町図書館千代田分館)機能を有しているが、建築から46年が経過しているため老朽化が激しく、耐震化・ユニバーサルデザイン対応が必要である。
 ・千代田中央公民館の平成27年度の利用は約26,000人で、利用割合としては、自発的な学習活動や公民館サークルといった生涯学習活動が57%、行政などの利用が40%である。利用者の世代別統計は数字上表れていないが、昼間は高齢者の利用が多く、夕方からは子供や中間層の世代の利用が多く見られる。図書館(北広島町図書館千代田分館)の利用については、児童図書を借りる人の割合が高く、本館の児童図書の利用割合が25%に対して、千代田分館は41%と子供や子供を持つ保護者の利用が多いことが分かる。また、近年、幼児から中間層をターゲットにした教室やイベントを開催し、社会教育を行うとともに、公民館来館者の新規開拓を図っている。今後は、公民館が担う目的をより一層活発化することでひとづくりから住民との協働のまちづくりなど、地域コミュニティ振興の拠点として躍動していくことが望まれる。
 ・町道河本中出線は、千代田中央公民館に接する部分と下瀬橋3号線との交差点から南の中出橋までの間が狭隘な幅員となっており交通に支障を来しているため、幹線道路の改善が必要である。
 ・道の駅舞ロードIC千代田は、産直物販施設・レストラン施設の整備とともに、有田河本地区都市再生整備計画事業(平成23年度～平成26年度)により、駐車場の増設、公園整備、観光交流施設等を整備し、地方創生の拠点としての役割を果たしている。しかし、パーク&ライド利用が増加するなど、慢性的に駐車場が飽和状態にあり、産直物販・レストラン施設の運営、道の駅本来の休憩機能に支障を来しているため、新たなパーク&ライド機能の拡充が必要である。
 ・北広島町社会福祉協議会事務所(千代田支部)は、旧千代田町役場跡地に事務所を置いているが、施設が老朽化しているとともに、役場本庁及び千代田中央公民館等の他の公共施設とも離れているため、利用者の利便性が悪い状況にある。地域福祉に関する講座の平成26年度参加者総数は67人、平成27年度は58人と減少傾向にあるため、不特定多数の住民が集まる公共施設等に近い場所への事務所移設することによって、新規参加者の増加を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)
【山県東部新町建設計画(平成16年3月策定)】
 ・本地区は「広域・地域拠点」として、交通結節点としての立地性や都市機能の集積を活かし、広域的な拠点としての機能を発揮するとともに、歴史的遺産の活用や魅力ある都市空間の創出、多様な交流活動の場の提供等によって、田園都市としての役割を担うと位置付け、本地区における文化交流拠点施設整備として、「(仮称)ふれあいセンター(千代田中央公民館)整備」を検討している。
【第2次北広島町長期総合計画(平成28年2月策定)】
 ・将来像を「新たな感動・活力を創る 北広島〜人のチカラがあふれるまち〜」とし、本地区における施策として、「生涯学習の推進と、学びをまちづくりに活かす活動の推進」「コミュニティ施設の整備・充実と有効活用」を掲げ、生涯学習・ひとづくり・まちづくりの拠点整備を検討することとしている。
【北広島町都市計画マスタープラン(平成27年2月策定)】
 ・本地区は「第一種住居地域」、「準住居地域」、「近隣商業地域」に該当し、地域の歴史や文化に触れあう機会や健康増進、文化活動等、生涯学習体制を強化し、子どもから高齢者までが「ともに学びともに輝く」ことのできる環境を整える、また、中心拠点周辺においては、歩道や公共施設などのバリアフリー化やユニバーサルデザイン化を重点的に進め、できるだけ多くの人が快適に通行・利用できる環境の整備に努める方針を示している。
【北広島町総合戦略(平成27年10月策定)】
 ・方向性の1つとして「ひとが集う生活拠点の充実と支障の強化」を掲げ、福祉や生活拠点の整備の中で、本地区をまちづくり全般の中心として検討・整備することを示している。
【北広島町公共施設等総合管理計画(平成28年3月策定)】
 ・公民館について、適切に維持管理し、長寿命化を図り、耐震性の無いものや長寿命化の費用対効果が薄いと思われるものは、今後の人口推移を考慮しながら、必要な機能、規模、他の施設への機能移転について検討すると示している。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
1. 地域活性化拠点の利用者数	人/年	移転・新設する(仮称)北広島町まちづくり拠点の利用者数	社会のニーズに対応した学習機会の提供による人材育成を行い、地域住民の活動と交流の場として利用者増をめざす。	26,000人	28,000人
2. 交流拠点の利用者数	人/年	新設するポケットパークの利用者数	憩いの場となる交流空間の創出による交流人口の増加をめざす。	2,500人	6,100人
3. 地域福祉講座の参加者数	人/年	社会福祉協議会の行う地域福祉関係講座の参加者数	地域福祉関係講座を移転・新設する(仮称)北広島町まちづくり拠点で開催することにより新規参加者の増加をめざす。	58人	160人
4. 高速バス利用者数	人/年	新設するパーク&ライド駐車場による高速バス利用者数	新設するパーク&ライド駐車場による高速バス利用者数の増加をめざす。(午前6時～7時台)	19,527人	23,400人

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1:多世代交流、生涯学習活動、ひとづくり・協働のまちづくりの推進拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現存する千代田中央公民館を、北広島町まちづくりセンターとして移転・新設し、生涯学習活動や多世代交流、地域を守る人材の育成、協働のまちづくり活動等、多様な「学び」を「まちづくり」に活かす活動を促進する。 ・移転・新設する北広島町まちづくりセンターに隣接したポケットパークを整備し、若者や子育て世代が集う場を創出し、まちづくりへの参加を促進するとともに、隣接する商業施設とのアクセスを向上させるため、階段を整備する。 ・移転・新設する北広島町まちづくりセンター内に既存機能である図書館(北広島町図書館千代田分館)を整備し、読書活動による生涯学習環境の充実を図る。また、社会福祉協議会事務所(千代田支部)を移転・設置し、住民との協働による地域福祉を確立する。 ・住民と町の協働で行うオープニングイベントや施設の有効活用に係るワークショップを行い、多世代交流、生涯学習活動、ひとづくり・協働のまちづくり推進の機運を高める。また、併せて施設パンフレットを作成する。 	<p>(基幹)高次都市施設(地域交流センター):北広島町まちづくりセンター整備事業(会議室、ホール、調理室等)</p> <p>(基幹)地域生活基盤施設:役場本庁周辺整備事業(ポケットパーク整備)</p> <p>(提案)地域創造支援事業:北広島町まちづくりセンター整備事業(図書館整備)</p> <p>(提案)事業活用調査:事後評価分析事業</p> <p>(提案)まちづくり活動推進事業:ワークショップ開催、オープニングイベント開催、パンフレット作成</p> <p>(関連)社会福祉協議会事務所(北広島町まちづくりセンター内)</p>
<p>【整備方針2:回遊性の高い道路・歩道空間と憩いの場となる交流空間の創出による魅力ある中心市街地環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千代田中央公民館の移転により拡幅可能となる町道河本中出線を改良し、快適な交通環境と歩行者の安全確保を図る。 ・千代田中央公民館跡地を駐車場に活用し、飽和状態にある道の駅舞ロードIC千代田のパーク&ライド機能を補完する。 ・移転・新設する北広島町まちづくりセンターと役場本庁を繋ぐため、ユニバーサルデザイン対応による屋根付連絡通路を整備する。 	<p>(基幹)道路:町道河本中出線改良工事</p> <p>(基幹)地域生活基盤施設:役場本庁周辺整備事業(駐車場整備)</p> <p>(基幹)高質空間形成施設(歩行支援施設):役場本庁周辺整備事業(屋根付連絡通路整備)</p>

その他

【町民との協働による事業推進】

- ・本事業の中心となる(仮称)北広島町まちづくり拠点の整備計画にあたっては、町民の意見を反映させるためワークショップを行い、町民との協働による事業推進を図る。
- ・事業の進捗状況等について、町広報紙や町ホームページ、町CATV番組を通じて、随時、情報発信する。
- ・施設の有効活用のためのワークショップを行うなど、協働のまちづくりの推進を図る。

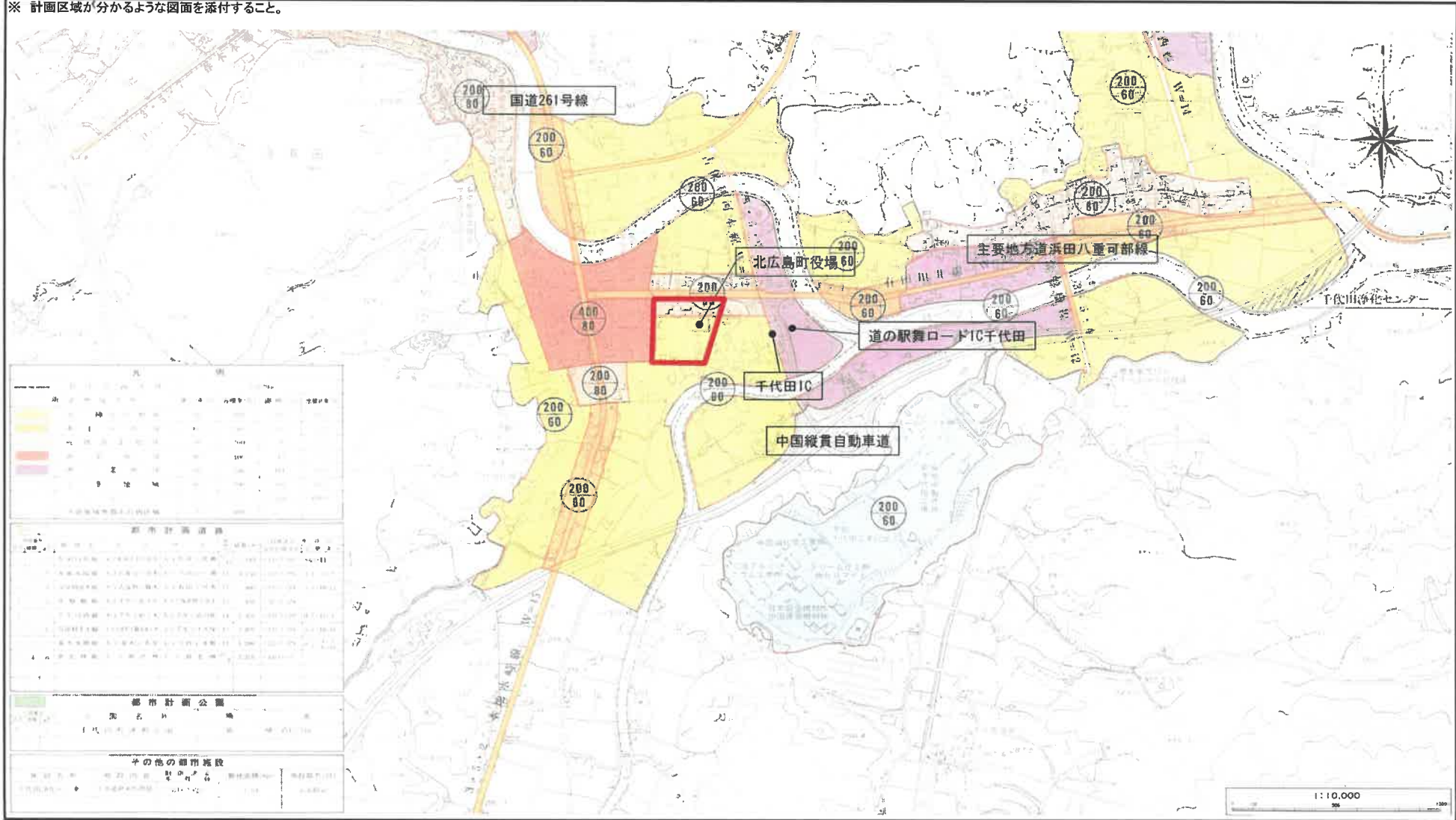
【事業実施体制】

- ・企画課、福祉課、建設課及び教育委員会生涯学習課が連携して事業を推進する体制が整っている。

都市再生整備計画の区域

役場周辺地区(広島県北広島町)	面積	3.5 ha	区域	北広島町有田字明神、下頼信の一部
-----------------	----	--------	----	------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



役場周辺地区(広島県北広島町) 整備方針概要図

目標 既存ストックの立地環境再編による中心市街地の魅力の向上と活性化	代表的な指標	地域活性化拠点の利用者数 (人/年)	26,000人 (H27年度) → 28,000人 (R4年度)
		交流拠点の利用者数 (人/年)	2,500人 (H27年度) → 6,100人 (R4年度)
		地域福祉講座の参加者数 (人/年)	58人 (H27年度) → 160人 (R4年度)
		高速バスの利用者 (人/年)	19,527人 (H28年度) → 23,400人 (R4年度)

